

<http://www.palcoop.or.jp>

「同じ主婦だから」困っている気持ちが分かり 多くの物品があつまりました

組合員の皆さまからご提供いただいた10万点もの台所用品は、6月25日に続き30日から枚方物流センターで「台所用品セット」の箱詰めがされました。7月4日までの6日間で、委員や総代の組合員さん230名、職員373名がボランティアで参加し、1407セットが完成しました。

第1回目の200セットに続き順次、岩手県遠野市に向けて、JRコンテナで送られます。パルコプからのボランティア職員メンバーにより、リレーでお届けされていきます。



心からの気持ちですね

組合員ボランティア・東住吉区の堀内さん（上写真左から3人目）
10万点もの台所用品が提供されたことに驚きました。きっと組合員は主婦という同じ立場で、「被災地のみなさんが包丁1本やお皿1枚もなくて困っておられるだろうなあ、少しでも役に立ちたい」と思った方が多かったのでしょう。また、手紙が多く添えられていたことにも感動しました。「使って欲しい」という心からの気持ちですね。

組合員さんと被災地をつなぐお役立ちになればと

港支所副支所長・藤木さん
（上写真左から2人目）

自分たちがいつも配送でお会いする組合員さんが提供してくださった、たくさんの台所用品、書いてくださった心寄せるメッセージ。多くの支所職員が、自分たちも何かできることはないか、組合員さんと被災地をつなぐお役立ちになるのならと、箱詰めのボランティアに参加していました。

「台所用品セット」は こうしてお届けされます



①岩手県遠野市の事務所です。午前8時、物資輸送チームでこの日お届けする仮設住宅を確認し、以前に要望の物があればそれもチェックします。



②物資倉庫では、「台所セット」だけでなく、「生鮮野菜」や衣料などをトラックに積みます。



2方面に分かれて出発

③大槌町と陸前高田市のそれぞれの仮設住宅に分かれて、出発します。



④仮設住宅を一軒一軒訪問し、「台所セット」などをお届けし、ご要望も聴き取ります。

～できあがった1407個の「台所用品セット」 が届けられていきます～

290個の「台所用品セット」が 仮設住宅へ届けられました

（7月8日現在）



仮設に転居したばかりの方は「これから食器を買いに行こうと思っていたの」と、突然の提供品に喜ばれていました。



被災地に寄り添い 見まもります